

第30回

現代語・現代文化フォーラム

Forum of Modern Languages and Cultures



2013年1月31日(木) 15:15~17:15

総合研究棟 B112 (「第1エリア前」バス停前)

矢野 静明 氏 (画家)

「画家の残した言葉」

画家は制作の途中に、手紙、対話、インタビューなどで自らの言葉を残していきます。それらは自分が制作するために必要な、謂わば、画家自身のために必要な言葉として記されます。つまりは、実践のための知恵であるとも、絵画の秘密であるとも言えるでしょう。

今回は、ご自分も画家である矢野氏に、残された絵画作品からではなく、残された画家の言葉をたどりながら、その時に生まれつつある絵画について話していただきます。

* 教員・学生の皆さまのご来聴を歓迎いたします。

問合せ先: 筑波大学人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻
現代文化分野 対馬 美千子
email: lemontr@jcom.home.ne.jp